

# Appreciation

見出しやリード文が題材の内容を補足して、聴きどころをより明確化します。

オーケストラの魅力を探ろう

Appreciation

## 二つの旋律から広がる音楽

ラヴェル作曲の「ボレロ」は、特徴的なリズムによって、二つの旋律がさまざまな楽器や楽器の組み合わせを交えて現れる楽曲です。フルート独奏によるピアノソロの旋律が、やがてオーケストラ全体で奏するフォルティッシモの音群となる様子からは、オーケストラの醍醐味を味わうことができます。二つの旋律がどのような楽器で引き継がれていくか注目しながら聴いてみましょう。

### バレエ音楽「ボレロ」

モーリス・ラヴェル (Maurice Ravel)

ロシアの前衛舞踊家イダ・ルビンシテインの依頼により1928年に作曲され、同年11月にルビンシテインによってバリのオペラ座で初演されました。ボレロのリズムは全曲を通して169回も演奏されます。ボレロは、1780年にスペインのセバスティアン・セルソによって始められた舞踊に由来します。

SAMPLE

Maurice Ravel



「ボレロ」モリス・ラヴェルバレエ団

ボレロのリズム  
曲の冒頭、スネア・ドラムが一で刻み始める



楽器の組み合わせと楽器の変化に注目してみましょう。

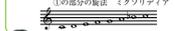
旋律 A

旋律 B

旋律 A では、ハ長調の音階が使われている。



旋律 B では、いくつかの技法が使われているよ。



LINK p.50 教員版

One More Step!!

②～④の部分で使われている音を調べて、五線譜に並べてみよう。



122

音楽科

1. 1本のフルートが旋律Aを奏し、その後ボレロのリズムに加わります。

2. オーボエ・ダモアレに続き、フルートとトランペットが旋律Aを演奏します。

\*オーボエ属に分類される木管楽器。オーボエよりやや柔らかい音色をもつ。

6. 終結部  
クライマックスに進むとボレロのリズムが停止し、下行する音型を一齐に奏して曲を閉じます。

ボレロの演奏 ミシエ・フランソワ指揮 パリ管弦楽団

123

3. 楽器が次々に増えていきます。特にピッコロ、ホルン、チェレスタによる旋律Aは、倍音の効果を利用した響きがあります。

4. 木管楽器群に混じって、ついに弦楽器群も旋律に加わります。ヴァイオリンは演奏者の人数が多い点に注目しましょう。

5. さらに3本のトロンボーンが、アンサンブルで旋律Bに加わります。

p.122-123 バレエ音楽「ボレロ」  
「ボレロ」の二つの旋律を演奏する楽器を確認しながら鑑賞します。

情景を思い浮かべながら聴こう

Appreciation

## くじらが泳ぐ雄大なドラマ

「青い水平線」は、収束型とした3楽章からなる作品ですが、全楽章は休みなしで連続演奏されます。それぞれの楽章には「光を放つ生き物」クラーケンに挑む海獣、「シロナガスクジラ」と表題が付けられており、海とそこに生きるさまざまな生物が描かれています。三つの楽章を通してどのような物語が繰り広げられているのか、想像を膨らませてみましょう。

### 三つの交響的素描「青い水平線」Blue Horizons

フランコ・ゼザリニ (Franco Zeffirelli)

フランコ・ゼザリニ (1961～) はスイス出身の作曲家、指揮者、フルート奏者です。「青い水平線」や交響詩「アルプスの詩」などの収束型作品が知られています。「青い水平線」は2002年に作曲されました。

SAMPLE



この曲には、次のような音楽による描写が現れます。それぞれの情景を捉えながら聴いてみましょう。

(第1～3楽章) くじらをイメージした旋律「くじらのモチーフ」が、全体を通してさまざまな楽器で演奏されます。半音階で上下行する動きと跳躍する動きが特徴的で、リズムの変化を伴いながらあることに現れます。

(第1楽章) 大きな異なる複数のベルを1本の輪に通した楽器、ベルツリーの印象的な音色とともに、オーボエとハーブが上行音型を奏します。クラリネットの和音、そして音階を付けた金管楽器の和音と、弓を用いて演奏されるヴァイオリンなどの打楽器の響きが多岐にわたって、「光を放つ生き物」を描写します。

(第2・3楽章) チョーン(二の拍面)をゴム製のボールで擦る特殊奏法などを用いて、くじらの鳴き声を模倣しています。

(第3楽章) ハープによる分散和音が繰り返され、くじらのモチーフがクラリネットなどで演奏されます。その後イングリッシュ・ホルンやホルンにくじらのモチーフが引き継がれていきます。

SAMPLE

SAMPLE

SAMPLE

### 第1楽章「光を放つ生き物」 Luminescent Creatures

海にさまざまな形や生態をもつ生き物たちが光を放ちながら漂っています。そこへゆったりと大きなくじらが泳いでやってきます。



SAMPLE

### 第2楽章「クラーケンに挑む海獣」 Leviathan against Kraken

巨大なイカやタコの群で描かれることが多い想像上の怪物クラーケンが、旧約聖書に登場する海獣リヴァイアサンに似ています。



SAMPLE

### 第3楽章「シロナガスクジラ」The Blue Whale

静かな海の中を、大きくくじらが悠々と泳いでいきます。くじらは鳴き声とともに、静かな水平線のもとへと遠ざかっていきます。「ブルー・ホーエル」は、シロナガスクジラを象徴する音楽です。



SAMPLE

### 吹奏楽の今昔

吹奏楽の起源は中世ヨーロッパの軍楽隊にあるといわれていますが、その後宮廷文化と結びつき、18世紀には祝典や戦乱に欠かせないものとなりました。19世紀になると音楽教育が推進し、現在の構成が大きく変わります。19世紀末にはアメリカやイギリスで多くの吹奏楽作品が書かれるようになりました。現代の日本においては学校の部活動や社会イベント、プロの吹奏楽団などの活動が盛んに行われています。



SAMPLE

p.126-127  
三つの交響的素描「青い水平線」  
人気吹奏楽曲が描く雄大な情景をイメージします。